

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 3 日 (2019.10.3)

【公開番号】特開 2018-159508 (P2018-159508A)

【公開日】平成 30 年 10 月 11 日 (2018.10.11)

【年通号数】公開・登録公報 2018-039

【出願番号】特願 2017-56740 (P2017-56740)

【国際特許分類】

F 2 7 D 13/00 (2006.01)

F 2 7 D 17/00 (2006.01)

F 2 7 B 3/18 (2006.01)

C 2 1 C 5/52 (2006.01)

【F I】

F 2 7 D 13/00 D

F 2 7 D 17/00 1 0 1 G

F 2 7 D 13/00 F

F 2 7 B 3/18

C 2 1 C 5/52

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 14 日 (2019.8.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

炉体の上方に設けたシャフト内にスクラップを予熱する単一の予熱室を設けて、溶解炉の排ガスをシャフト内の予熱室に流通させてスクラップを予熱し、かつ、予熱室の排ガス流入側と排ガス流出側を結ぶバイパス路を設けて、当該バイパス路に流量調節手段を設けた溶解炉のスクラップ予熱装置。

【請求項 2】

前記流量調節手段として弁体ないしファンの少なくとも一方を設けた請求項 1 に記載の溶解炉のスクラップ予熱装置。

【請求項 3】

煙道を前記予熱室の上端部側壁に連結した請求項 1 又は 2 に記載の溶解炉のスクラップ予熱装置。

【請求項 4】

前記バイパス路を流れる排ガス量の上限が溶解炉から排出される排ガス量の 25 ~ 35 % になるように前記バイパス路の圧損が設定されている請求項 1 ないし 3 のいずれかに記載の溶解炉のスクラップ予熱装置。

【請求項 5】

前記バイパス路に前記弁体と前記ファンを直列に設けた請求項 2 ないし 4 のいずれかに記載の溶解炉のスクラップ予熱装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

本第２発明では、前記流量調節手段として弁体（２１）ないしファン（４）の少なくとも一方を設ける。本第３発明では、煙道（３）を前記予熱室（１４）の上端部側壁に連結する。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

本第４発明では、前記バイパス路（２）を流れる排ガス量の上限が溶解炉（１）から排出される排ガス量の２５～３５％になるように前記バイパス路（２）の圧損が設定されている。本第５発明では、前記バイパス路（２）に前記弁体（２１）と前記ファン（４）を直列に設ける。